

# 内分泌・代謝内科



診療部長・診療科長  
田上 哲也

専門医資格等 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医、近畿支部評議員  
日本内分泌学会 内分泌代謝科(内科)専門医・指導医・教育責任者、評議員  
日本甲状腺学会 専門医、評議員  
厚生労働省 臨床研修指導医  
京都大学医学部 臨床教授・非常勤講師  
京都大学 医学博士

専門分野 内科、内分泌・代謝  
得意疾患 内分泌・代謝疾患、甲状腺疾患

## □ スタッフ

平成28年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	立木 美香	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科(内科)専門医・指導医 日本高血圧学会 専門医 臨床研修指導医 東京女子医科大学 医学博士	内科 内分泌・代謝	高血圧・副腎疾患
医師	馬越 洋宜	日本内科学会 認定内科医 臨床研修指導医	内科 内分泌・代謝	高血圧・副腎疾患
専修医	小笠原辰樹	日本内科学会 認定内科医	内科 内分泌・代謝	高血圧・副腎疾患
専修医	廣嶋 佳歩	日本内科学会 認定内科医	内科、内分泌・代謝	内分泌疾患
専修医	横本 真希	日本内科学会 認定内科医 日本糖尿病学会 専門医	内科 内分泌・代謝	骨代謝疾患
臨床研究センター・センター長	島津 章	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本内分泌学会 内分泌代謝科(内科)専門医・指導医 日本糖尿病学会 専門医 京都大学医学部 臨床教授・非常勤講師 京都大学 医学博士	内科 内分泌・代謝 臨床検査医学	神経内分泌・下垂体疾患
臨床研究センター・臨床内分泌代謝研究室長	日下部 徹	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科(内科)専門医・指導医 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・指導医 日本肥満学会 肥満症専門医・指導医 京都大学大学院医学研究科 客員研究員 京都大学 医学博士	内科 内分泌・代謝	肥満症・糖尿病・サルコペニア
臨床研究センター・特別研究員	成瀬 光栄	日本内科学会 認定内科医・指導医 日本内分泌学会 内分泌代謝科(内科)専門医・指導医 日本高血圧学会 専門医 日本糖尿病学会 専門医 日本腎臓学会 専門医・指導医 東京医科歯科大学医学部 臨床教授・非常勤講師 東京女子医科大学 医学博士	内科 内分泌・代謝	高血圧・副腎疾患

臨床研究センター・研究員	笹井有美子	日本内科学会 認定内科医 日本甲状腺学会 専門医	内科 内分泌・代謝	甲状腺疾患
非常勤医師	垣田真以子	日本内科学会 認定内科医 日本内分泌学会 内分泌代謝科(内科) 専門医 日本甲状腺学会 専門医 日本抗加齢学会 専門医 日本医師会 認定産業医	内科 内分泌・代謝 女性医学	内分泌疾患

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本内分泌学会研修施設 日本甲状腺学会認定施設
-------	----------------------------

- 内分泌代謝疾患とは「ホルモンの乱れに起因する病気」を総称するものです。下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎、性ホルモンの異常をきたす疾患の他、内分泌疾患を疑う必要のある、高血圧、糖尿病、肥満、高脂血症などの生活習慣病、電解質異常、骨粗鬆症なども対象としており、糖尿病センターと連携して治療にあたっています。
- 地域における内分泌代謝疾患の専門診療を担っており、1999年には内分泌代謝性疾患に関する高度専門医療施設(準ナショナルセンター)として国の指定を受けています。全国の内分泌・代謝疾患の「専門医療施設」と内分泌・代謝疾患ネットワークを構築しています。また、日本内分泌学会認定教育施設および日本甲状腺学会認定専門医施設に認定されています。
- 診療のモットー
  1. 内分泌代謝疾患に関する、良質で高水準の医療を提供しています。
  2. 満足のいく十分な説明を行い、安心できる医療を提供しています。
  3. 十分な診療情報提供と逆紹介により、病診連携を促進しています。

## □ 主な対象疾患

### ● 下垂体疾患

下垂体インシデンタローマ:脳ドックなど、CTやMRIで偶然見つかった下垂体腫瘍の機能評価をします。

下垂体機能亢進症:先端巨大症(アクリロメガリー)、クッシング病(下垂体性クッシング症候群)、プロラクチン産生下垂体腫瘍(プロラクチノーマ)、TSH産生下垂体腫瘍(中枢性甲状腺機能亢進症)などです。糖尿病や肥満、不順月経の原因になります。

下垂体機能低下症:シーハン症候群(出産後下垂体機能低下症)などの汎下垂体機能低下症、ACTH単独欠損症(下垂体性副腎不全)、成長ホルモン分泌不全症、リンパ球性下垂体炎、中枢性尿崩症などがあります。無月経や低身長、低血圧・低血糖、口渇・多飲・多尿などが主徴候となります。小児科からのトランジション(引き継ぎ治療)も大切です。

### ● 甲状腺疾患

甲状腺腫:学校検診や人間ドックなどで指摘された甲状腺腫の評価をします。

甲状腺インシデンタローマ:頸動脈エコーなどで偶然見つかった甲状腺腫瘍の良性・悪性の判定をします。甲状腺機能亢進症:バセドウ病のほか、プランマー病(機能性結節)、妊娠性甲状腺機能亢進症があります。眼球突出や心房細動がきっかけで見つかることもあります。振戦や筋力低下の原因にもなります。コントロール不良のバセドウ病にはアイソトープ治療(<sup>131</sup>I内用療法)も考えてみてください。

破壊性甲状腺中毒症:発熱・前頸部痛を主訴とする亜急性甲状腺炎や、橋本病をベースとした無痛性甲状腺炎、インターフェロンやアミオダロンなどによる薬剤性甲状腺中毒症があります。

甲状腺機能低下症:原因として橋本病(慢性甲状腺炎)が最も多いですが、先天性甲状腺機能低下症や薬剤性甲状腺機能低下症(向精神薬など)も少なくありません。便秘や体重増加、皮膚の乾燥、顔のむくみ、脱毛などを訴えます。

●副甲状腺疾患

高カルシウム血症：副甲状腺腫による原発性副甲状腺機能亢進症や悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症、ビタミンD中毒があります。尿路結石を繰り返します。

低カルシウム血症：成人では特発性副甲状腺機能低下症があります。小児では、先天性副甲状腺機能低下症や偽性副甲状腺機能低下症があります。

骨粗鬆症：高齢化に伴い、閉経後の原発性骨粗鬆症が増加しています。ステロイドホルモンによる続発性骨粗鬆症にも注意が必要です。

●副腎疾患

副腎インシデンタローマ：CTやMRIで偶然見つかった副腎腫瘍の機能評価をします。

副腎皮質機能亢進症：原発性アルドステロン症やクッシング症候群などがあります。多くは副腎腫瘍が原因です。高血圧や糖尿病、メタボリック症候群の原因になります。

副腎髄質機能亢進症：褐色細胞腫や傍神経節腫が原因です。術後数年後に転移が見つかるケースも少なくありません。発作性の高血圧が特徴です。

副腎皮質機能低下症：アヂソン病や先天性副腎過形成などが原因となります。急性副腎不全（副腎クリーゼ）を発症することがあります。

●性腺疾患

ターナー症候群、クラインフェルター症候群、多嚢胞性卵巣症候群などです。

●内分泌性高血圧

高血圧の約15%はホルモンの異常による内分泌性高血圧で、下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎、腎臓などのホルモン過剰が原因となります。適確な診断と治療で治癒可能なことが多いので、専門医の受診を勧めます。高血圧の～10%に原発性アルドステロン症が見つかります。

●メタボリックシンドローム

高血圧、肥満、糖尿病などの生活習慣病の中にも内分泌の病気が隠れています。

●サルコペニア

加齢によって筋肉量が減り、握力や歩く速度が低下するなど、身体機能に影響がでる状態。日常生活に支障がでるのみならず、転倒・骨折、生活習慣病、認知症などのさまざまな病気のリスクとなります。

●その他

腎性尿崩症、多発性内分泌腺腫症(MEN I 型, MEN II 型)

電解質異常(低カリウム血症、低ナトリウム血症など)、高脂血症、高尿酸血症など、その他の内分泌代謝疾患

□ 診療(業務)内容

●外来では、血液検査、画像検査(レントゲン、CT、MRI、アイソトープ検査や甲状腺エコー)、甲状腺の細胞診などを行っています。遺伝子診断・遺伝相談、セカンドオピニオン外来を実施しています。本年度より新たに骨粗鬆症・サルコペニア専門外来を開設しました。

●入院では、上記疾患の診断と治療の他、バセドウ病のアイソトープ治療、甲状腺眼症のステロイドパルス療法、原発性アルドステロン症の副腎静脈サンプリング検査などを実施しています。

□ 診療実績(平成28年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
6.0名	320名	6.7日

外来患者数

1日平均総患者数	年間初診患者数
60.3名	735名

主な検査の件数など

甲状腺エコー	甲状腺細胞診
1,767件	142件

### 〈福島県県外甲状腺検査〉

平成23年3月11日に発生した東日本大震災によって、東京電力福島第一原子力発電所では、放射性物質の放出を伴う事故(以下、福島第一原発事故という)が発生した。この事故は、国際原子力・放射線事象評価尺度(International Nuclear and Radiological Event Scale: INES)において、1986年4月26日に旧ソビエト連邦(現ウクライナ)で発生したチェルノブイリ原子力発電所事故(以下「チェルノブイリ原発事故」という)と同等の「7」(暫定)とされている。チェルノブイリ原発事故においては、事故直後に食品等の規制がなされなかったことなどに起因し、周辺住民の放射性ヨウ素による内部被ばくが拡大し、小児の甲状腺がんが激増する事態となった。このことから、福島第一原発事故においても小児の甲状腺がん発症への懸念が高まっている。このため、福島県では県民の健康見守り事業である「県民健康管理調査」を実施し、その中で、福島第一原発事故発生時に18歳以下の小児であった者に対する甲状腺検査を行っている。

「県民健康管理調査」事業は、福島第一原発事故による放射性物質の拡散や避難等を踏まえ、県民の被ばく線量の評価を行うとともに、県民の健康状態を把握し、疾病の予防、早期発見、早期治療につなげることで、将来にわたる県民の健康維持・増進を図ることを目的としている。財源には、国及び福島県からの出資金並びに東京電力株式会社から福島県への賠償金等から構成される「福島県民健康管理基金」が充てられている。検査・診断等は、福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センターが主体となって行っている。県民健康管理調査は、外部被ばく線量の推計を目的とした「基本調査」と、健康状態の把握を目的とした「詳細調査」から構成されている。

### 甲状腺検査

事故当時18歳以下の小児(平成4年4月2日以降に生まれた者)を対象とし、以下の2つの検査から構成されている。

- 先行検査 平成23年10月から平成26年3月末までに行われる、1回目の甲状腺検査
- 本格検査 平成26年4月以降、20歳までは2年ごと、それ以降は5年ごとに継続して行われる甲状腺検査

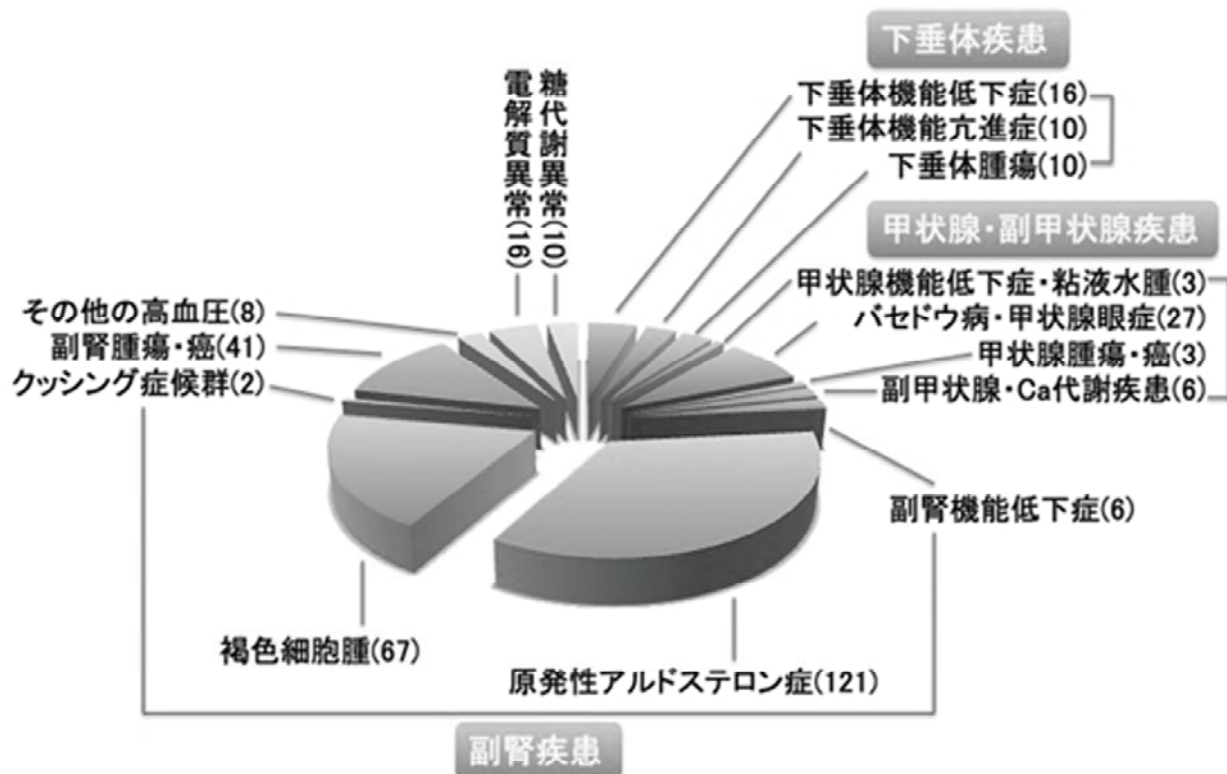
チェルノブイリ原発事故のデータから、小児甲状腺がんが増加するのは事故後4~5年を経過して以降とされている。このことを踏まえつつ、事故直後に開始された先行検査は、福島第一原発事故後3年以内の小児の甲状腺の状態を把握することで、放射線被ばくによる影響が考えにくい時点での疾患の頻度を記録し、将来の健康管理の土台をつくることを目的としている。一方、事故後3年を経て開始される予定の本格検査は、放射線被ばくの影響についての追跡調査と健康管理を目的としている。平成25年現在行われているのは先行検査である。

先行検査はさらに、対象者全員に対して行われる一次検査と、一次検査で疑わしい所見のあった者に対してのみ行われる、診断確定のための二次検査で構成される。

一次検査は甲状腺エコー検査(超音波検査)である。二次検査は甲状腺エコー検査に加え、採血・尿検査が行われるほか、必要な場合は細胞診(甲状腺の細胞を採取して行う検査)が行われる。

京都医療センター内分泌・代謝内科では、京都府下への避難者(京都府内居住者)を対象に一次検査と二次検査を実施している。

	福島甲状腺エコー
2012年度	9件
2013年度	26件
2014年度	9件
2015年度	21件
2016年度	11件



#### □ 学術活動報告 (学会・研究発表など)

区分	演者	演題	学会名		
国際学会	Umakoshi, Naruse, Wada, Ichijo, Kamemura, Matsuda, Fujii, Kai, Fukuoka, Sakamoto, Ogo, Suzuki, Nanba, Tsuiki	Adrenal venous sampling in patients without primary aldosteronisms.	ENDO 2016, the Endocrine Society's 98th Annual Meeting	Boston, USA	2016.4.1-2016.4.4
国際学会	Umakoshi, Naruse, Wada, Ichijo, Kamemura, Matsuda, Fujii, Kai, Fukuoka, Sakamoto, Ogo, Suzuki, Nanba, Tsuiki	Adrenal venous sampling in patients without primary aldosteronisms.	17th International Congress of Endocrinology	Beijing, China	2016.8.31-2016.9.4
国際学会	Umakoshi, Xiaomeo, Ichijo, Kamemura, Matsuda, Fujii, Kai, Fukuoka, Sakamoto, Ogo, Suzuki, Ogasawara, Tsuiki, Naruse	Reassessment of the cosyntropin stimulation test in the confirmatory diagnosis and subtype classification of primary aldosteronism.	17th International Congress of Endocrinology	Beijing, China	2016.8.31-2016.9.4
国際学会	Umakoshi, Xiaomeo, Ichijo, Kamemura, Matsuda, Fujii, Kai, Fukuoka, Sakamoto, Ogo, Suzuki, Ogasawara, Tsuiki, Naruse	Reassessment of the cosyntropin stimulation test in the confirmatory diagnosis and subtype classification of primary aldosteronism.	RAAS 2016	Tokyo, Japan	2016.9.23-2016.9.24
国際学会	Ogasawara, Umakoshi, Wada, Ichijo, Kamemura, Matsuda, Fujii, Kai, Fukuoka, Sakamoto, Ogo, Suzuki, Tsuiki, Naruse	Clinical significance of adrenal computed tomography findings in young patients with primary aldosteronism.	RAAS2016	Tokyo, Japan	2016.9.23-2016.9.24
国際学会	Umakoshi, Tsuiki, Kurihara, Takeda, Ichijo, Wada, Katabami, Ogawa, Takahashi, Sone, Kawashima, Shibata, Yanase, Rakugi, Kamemura, Fujii, Naruse	Clinical significance of computed tomography and serum potassium in subtype classification of primary aldosteronism.	42nd International Aldosterone conference	Orlando, USA	2017.3.30-3.31
国際学会	Sasai, Umakoshi, Kurihara, Katabami, Yoshimoto, Wada, Ichijo, Sone, Kawasima, Takeda, Takahashi, Yamamoto, Kobayashi, Tsuiki, Naruse, JPAS group	Subtype diagnosis by adrenal vein sampling in patients with primary aldosteronism associated with autonomous cortisol secretion.	42nd International Aldosterone Conference	Orlando, USA	2017.3.30-2017.3.31
国内学会	林美沙, 二若久美, 福田 佑紀, 小山 理恵, 今本 美幸, 笠原 正登, 田上 哲也, 森山 賢治	喫煙は甲状腺ホルモン作用に影響するか	第89回日本内分泌学会学術総会	京都	2016.4.21-23
国内学会	馬越洋宜, 和田典男, 一城貴政, 松田祐一, 亀村幸平, 福岡富和, 小笠原辰樹, 立木美香, 成瀬光栄	非原発性アルドステロン症における副腎静脈血中アルドステロンの動態(ポスター)	第89回日本内分泌学会総会	京都	2016.4.21-2016.4.23
国内学会	垣田 真以子, 臼井 健, 小笠原 辰樹, 馬越 洋宜, 立木美香, 田上 哲也, 成瀬 光栄, 島津 章	多発性内分泌腫瘍症1型の腫瘍発生機構に迫る	第89回日本内分泌学会学術総会	京都	2016.4.21-23
国内学会	二若久美, 田上哲也, 林美沙, 主田綾佳, 根津祥子, 小山 理恵, 福田 佑紀, 今本 美幸, 笠原 正登, 森山 賢治	成長ホルモンによるUncoupling protein(UCP)3遺伝子転写調節機構の解明	第89回日本内分泌学会学術総会	京都	2016.4.21-23
国内学会	立木 美香, 馬越 洋宜, 広川 侑奨, 難波 多挙, 小笠原辰樹, 垣田 真以子, 臼井 健, 田上 哲也, 島津 章, 成瀬 光栄	原発性アルドステロン症(PA)の副腎静脈サンプリング(AVS)による病型診断の再現性に関する検討	第89回日本内分泌学会学術総会	京都	2016.4.21-23



国内学会	小笠原辰樹, 馬越洋宜, 一城貴政, 和田典男, 亀村幸平, 松田祐一, 福岡富和, 立木美香, 成瀬光栄	若年者原発性アルドステロン症の局在診断におけるCT所見の意義	第89回日本内分泌学会学術総会	京都	2016.4.21-2016.4.23
国内学会	垣田 真以子, 小笠原 辰樹, 馬越 洋宜, 立木 美香, 辻村 隆司, 嘉田 真平, 白井 健, 成瀬 光栄, 島津 章, 田上 哲也	MMIで肝機能障害、PTUでCK上昇を認め、131I内用療法で甲状腺クリーゼをきたしたBasedow病の一例	第89回日本内分泌学会学術総会	京都	2016.4.21-23
国内学会	廣嶋 佳歩, 垣田 真以子, 白井 健, 小笠原 辰樹, 馬越 洋宜, 立木 美香, 田上 哲也, 成瀬 光栄, 辻村 隆司, 安里 亮, 森吉 弘毅, 島津 章	治療に難渋した甲状腺疾患 甲状腺C細胞過形成段階での甲状腺全摘術を施行したRET遺伝子変異保持者の二症例	第89回日本内分泌学会学術総会	京都	2016.4.21-23
国内学会	立木 美香, 廣嶋 佳歩, 小笠原 辰樹, 馬越 洋宜, 垣田 真以子, 田上 哲也, 白井 健, 島津 章, 猪飼 伊和夫, 笹野 公伸, 成瀬 光栄	診断・治療に苦渋した副腎腫瘍 臨床と病理から 肝腫瘍との鑑別を要した副腎皮質癌の一例	第89回日本内分泌学会学術総会	京都	2016.4.21-23
国内学会	林 美沙, 二若 久美, 福田 佑紀, 小山 理恵, 今本 美幸, 笠原 正登, 田上 哲也, 森山 賢治	プロラクチンの代謝作用に関する基礎的検討	第59回日本糖尿病学会年次学術集会	京都	2016.5.19-21
国内学会	横本真希, 金沢一平, 近藤しおり, 杉本利嗣	2型糖尿病患者における転倒リスクと脆弱性骨折の相互関連性	第59回日本糖尿病学会年次学術集会	京都	2016.5.19-21
国内学会	横本真希, 金沢一平, 竹野歩, 田中賢一郎, 野津雅和, 杉本利嗣	骨細胞系MLO-4細胞においてAMP-activated protein kinase活性化はメバロン酸経路を阻害することによりRANKL発現を減少させ、スクレロシン発現を増加させる	第34回日本骨代謝学会	大阪	2016.7.21-7.23
国内学会	馬越洋宜, 一城貴政, 松田祐一, 藤井雄一, 福岡富和, 甲斐達也, 坂本竜一, 小河淳, 鈴木知子, 小笠原辰樹, 立木美香, 成瀬光栄	原発性アルドステロン症の機能確認と病型診断予測におけるACTH負荷試験の意義(口演)	第39回日本高血圧学会総会	仙台	2016.9.30-2016.10.2
国内学会	田上 哲也	甲状腺ホルモン不応症:RTHβと RTHα	第59回日本甲状腺学会学術集会	東京	2016.11.3-5
国内学会	廣嶋 佳歩, 小笠原 辰樹, 横本 真希, 馬越 洋宜, 立木 美香, 成瀬 光栄, 島津 章, 田上 哲也	油性ヨード造影剤による子宮卵管造影検査の半年後に甲状腺機能低下症をきたした妊婦の一例	第59回日本甲状腺学会学術集会	東京	2016.11.3-5
国内学会	山上 啓子, 角田 尚子, 関 香織, 埴岡 裕介, 中村 遼太, 中村 友之, 後藤 仁志, 吉田 陽子, 薬師寺 洋介, 細井 雅之, 田上 哲也, 浅原 哲子, 島津 章, 金本 巨哲	動悸、振戦が発見契機となった甲状腺ホルモン不応症の一例	第26回臨床内分泌代謝Update	埼玉	2016.11.18-19
国内学会	柏原 英里子, 横本 真希, 立木 美香, 廣嶋 佳歩, 小笠原 辰樹, 馬越 洋宜, 浅原 哲子, 成瀬 光栄, 島津 章, 藤井 友起子, 田上 哲也	高血圧性網膜症を契機に診断された傍神経節腫の一例	第26回臨床内分泌代謝Update	埼玉	2016.11.18-19
国内学会	小笠原 辰樹, 和田 典男, 一城 貴政, 福岡 富和, 坂本 竜一, 小河 淳, 馬越 洋宜, 亀村 幸平, 立木 美香, 田上 哲也, 島津 章, 成瀬 光栄	若年者原発性アルドステロン症の局在診断におけるCT所見の意義	第26回臨床内分泌代謝Update	埼玉	2016.11.18-19
国内学会	馬越 洋宜, 一城 貴政, 福岡 富和, 坂本 竜一, 小河 淳, 亀村 幸平, 藤井 雄一, 小笠原 辰樹, 立木 美香, 田上 哲也, 島津 章, 成瀬 光栄	原発性アルドステロン症診断におけるACTH負荷試験の意義	第26回臨床内分泌代謝Update	埼玉	2016.11.18-19
国内学会	廣嶋 佳歩, 垣田 真以子, 小笠原 辰樹, 横本 真希, 馬越 洋宜, 立木 美香, 浅原 哲子, 成瀬 光栄, 島津 章, 田上 哲也	著明な甲状腺腫を呈した新生児Basedow病の一例	第26回臨床内分泌代謝Update	埼玉	2016.11.18-19
国内学会	小笠原 辰樹, 馬越 洋宜, 一城 貴政, 和田 典男, 亀村 幸平, 坂本 竜一, 小河 淳, 松田 祐一, 藤井 雄一, 甲斐 達也, 福岡 富和, 鈴木 知子, 立木 美香, 成瀬 光栄	若年者原発性アルドステロン症の局在診断におけるCT所見の意義	第26回臨床内分泌代謝Update	埼玉	2016.11.18-2016.11.19
国内学会	小笠原辰樹, 廣嶋佳歩, 馬越洋宜, 立木美香, 田上哲也, 成瀬光栄, 川端康弘, 青木友和, 森吉弘毅, 増谷剛, 井下尚子, 島津章	ACTH依存性クッシング症候群における選択的静脈洞血サンプリングのピットフォール	第27回日本間脳下垂体腫瘍学会	東京	2017.2.24-2017.2.25
研究会	田上 哲也	生活習慣病と骨粗鬆症	第79回伏見医師学術講演会	京都	2016.5.14
研究会	廣嶋 佳歩, 小笠原 辰樹, 横本 真希, 馬越 洋宜, 立木 美香, 成瀬 光栄, 島津 章, 田上 哲也	油性ヨード造影剤による子宮卵管造影検査の半年後に甲状腺機能低下症をきたした妊婦の一例	第16回京滋臨床甲状腺懇話会	京都	2016.7.9
研究会	笹井 有美子	甲状腺疾患診療のポイント ～橋本病と妊娠～	伏見内分泌代謝ネットワーク 第25回連携の会	京都	2016.7.23
研究会	横本 真希	骨粗鬆症診療のポイント	伏見内分泌代謝ネットワーク 第25回連携の会	京都	2016.7.23
研究会	小笠原 辰樹	高血圧診療のポイント	伏見内分泌代謝ネットワーク 第25回連携の会	京都	2016.7.23
研究会	成瀬 光栄	特別講演「副腎疾患診療と病診連携:新たな出発点」:	伏見内分泌代謝ネットワーク 第25回連携の会	京都	2016.7.23
研究会	垣田 真以子	女性の骨粗鬆症を考える	第7回京都医療センター医療連携フォーラム	京都	2016.9.3
研究会	廣嶋 佳歩, 小笠原 辰樹, 横本 真希, 馬越 洋宜, 立木 美香, 笹井 有美子, 田上 哲也, 浅原 哲子, 成瀬 光栄, 島津 章	non-Langerhans cell histiocytosisに関連すると考えられる中枢性尿崩症の一例	第91回京都内分泌同好会	京都	2016.10.1
研究会	横本 真希	2型糖尿病患者における転倒リスクと脆弱性骨折の相互関連性	第2回Osteoporosis Seminar	京都	2016.11.10
研究会	馬越洋宜, 廣嶋佳歩, 小笠原辰樹, 横本真希, 立木美香, 笹井有美子, 日下部徹, 浅原哲子, 田上哲也, 島津章, 成瀬光栄	原発性アルドステロン症における 副腎静脈サンプリングの局在判定基準と採血部位に関する検討	第2回内分泌代謝トランスレーショナル医学塾	京都	2016.11.25
研究会	立木 美香	下垂体:出産後の・・・	伏見内分泌代謝ネットワーク 第26回連携の会	京都	2016.12.8

研究会	廣嶋 佳歩	甲状腺:不妊症で...	伏見内分泌代謝ネットワーク 第26回連携の会	京都	2016.12.8
研究会	馬越 洋宜	副 腎:医原性か...	伏見内分泌代謝ネットワーク 第26回連携の会	京都	2016.12.8
研究会	田上 哲也	骨粗鬆症治療における骨吸収抑制薬と顎骨壊死に関する最近の知見	京都府歯科医師学術講演会-第1回ARONJ Seminar	京都	2016.12.9
研究会	田上 哲也	甲状腺疾患の診断:検査の選び方と読み方	国立病院臨床検査技師協会近畿支部学術研修会	京都	2016.12.9
研究会	田上 哲也	骨吸収抑制薬と最近のトレンド~骨粗鬆症治療の立場から~	第2回ARONJ Seminar	京都	2016.12.15
研究会	笹井 有美子	Subtype Diagnosis by AVS in PA Patients with Autonomous Cortisol Secretion	Seminar for Young Endocrinologists 2017	京都	2017.1.5
研究会	笹井 有美子	Subtype Diagnosis by AVS in PA Patients with Autonomous Cortisol Secretion	JPAS Research Progress Seminar 2017	東京	2017.1.7
研究会	笹井 有美子、廣嶋 佳歩、小笠原 辰樹、横本 真希、馬越 洋宜、立木 美香、日下部 徹、浅原 哲子、成瀬 光栄、島津 章、田上 哲也	TSH産生が疑われた下垂体腫瘍の一例	第39回京都甲状腺研究会	京都	2017.1.21
研究会	横本 真希	骨粗鬆症update	平成28年度 内分泌代謝性疾患専門医研修会	京都	2017.2.2
研究会	田上 哲也	保険診療を踏まえた甲状腺疾患の診かた	第2回内分泌・代謝疾患連携セミナー	大阪	2017.2.16
研究会	馬越 洋宜、広川 侑奨、廣嶋 佳歩、小笠原 辰樹、横本 真希、立木 美香、笹井 有美子、日下部 徹、浅原 哲子、島津 章、田上 哲也、成瀬 光栄	腫瘍枝の同定に苦慮したアルドステロン産生腺腫の1例	第92回京都内分泌同好会	京都	2017.3.4

## □ 投稿論文など

著書・雑誌名	著者	タイトル	巻・ページ			出版社
J Gen Fam Med	Tagami T, Tsuiki M, Nakao K, Nakatani R, Kakita M, Ueda Y, Matsuo N, Usui T, Naruse M, Shimatsu A.	Specific Symptoms of Thyrotoxicosis in Japanese Patients: A Reevaluation of Classical Symptoms in Modern Thyroid Function Tests	17	3	225-231	
J Biomed Sci	Fan Y, Futawaka K, Koyama R, Fukuda Y, Hayashi M, Imamoto M, Miyawaki T, Kasahara M, Tagami T, Moriyama K.	Vitamin D3/VDR resists diet-induced obesity by modulating UCP3 expression in muscles.	23	56	1-12	
J Mol Endocrinol	Futawaka K, Tagami T, Fukuda Y, Koyama R, Nushida A, Nezu S, Yamamoto H, Imamoto M, Kasahara M, Moriyama K.	Transcriptional activation of the wild-type and mutant vitamin D receptors by vitamin D3 analogs.	57	1	23-32	
Growth Horm IGF Res	Futawaka K, Tagami T, Fukuda Y, Koyama R, Nushida A, Nezu S, Imamoto M, Kasahara M, Moriyama K.	Growth hormone regulates the expression of UCP2 in myocytes.	29		57-62	
Endocr J	Futawaka K, Tagami T, Fukuda Y, Koyama R, Nushida A, Nezu S, Imamoto M, Kasahara M, Moriyama K.	Growth hormone regulates the expression of UCP2 in myocytes.	63	3	221-229	
Endocr Res	Moriyama K, Yamamoto H, Futawaka K, Atake A, Kasahara M, Tagami T.	Molecular characterization of human thyroid hormone receptor $\beta$ isoform 4.	41	1	34-42	
Clinical Endocrinology	Umakoshi H, Yang X, Ichijo T, Kamemura K, Matsuda Y, Fujii Y, Kai T, Fukuoka T, Sakamoto R, Ogo A, Suzuki T, Ogasawara T, Tsuiki M, Naruse M	Reassessment of the Cosyntropin Stimulation Test in the Confirmatory Diagnosis and Subtype Classification of Primary Aldosteronism.	86	2	170-176	
Clinical Endocrinology	Shibayama Y, Wada N, Umakoshi H, Wada N, Ichijo T, Kamemura K, Matsuda Y, Fujii Y, Kai T, Fukuoka T, Sakamoto R, Ogo A, Suzuki T, Tsuiki M, Naruse M	Bilateral aldosterone suppression and its resolution in adrenal vein sampling of patients with primary aldosteronism: Analysis of data from WAVES-J study.	85	5	696-702	
Hypertension	Umakoshi H, Naruse M, Wada N, Ichijo T, Kamemura K, Matsuda Y, Fujii Y, Kai T, Fukuoka T, Sakamoto R, Ogo A, Suzuki T, Nanba K, Tsuiki M.	Adrenal venous sampling in patients with positive screening but negative confirmatory testing for primary aldosteronism.	67	5	1014-1019	
Endocr J	Takeno A, Kanazawa I, Tanaka K, Notsu M, Yokomoto-Umakoshi M, Sugimoto T.	Simvastatin rescues homocysteine-induced apoptosis of osteocytic MLO-Y4 cells by decreasing the expressions of NADPH oxidase 1 and 2	25	63	389-395	
Calcif Tissue Int	Notsu M, Kanazawa I, Yokomoto-Umakoshi M, Tanaka KI, Yamaguchi T, Sugimoto T	Advanced Glycation End Product (AGE3) increases apoptosis and the expression of sclerostin by stimulating TGF- $\beta$ expression and secretion in osteocyte-like MLO-Y4-A2 cells.			In press	
成長科学協会研究年報	森山 賢治, 二若 久美, 田上 哲也	合成活性型ビタミンD3によるII型クル病の成長改善効果	39		147-152	成長科学協会

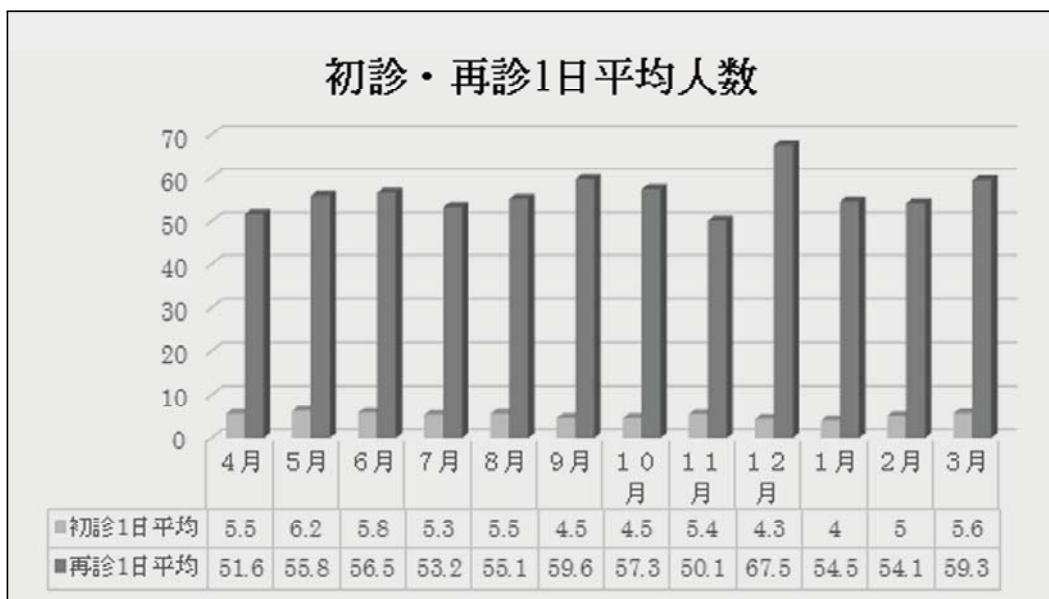
内分泌・糖尿病・代謝内科	成瀬 光栄, 田辺 晶代, 立木 美香, 馬越 洋宜, 笹井 有美子, 横本 真希, 田上 哲也	【内分泌癌の診断と治療の進歩】 悪性褐色細胞腫の新しい薬物治療	43	5	390-394	科学評論社
Medicina	田上 哲也	【内分泌疾患を診きわめる】 内分泌偶発腫の取り扱い 内分泌偶発腫(インシデンタローマ)の取り扱い 下垂体, 甲状腺, 副腎	53	13	2226-2230	医学書院
Medicina	小林[垣田]真以子, 田上 哲也	【内分泌疾患を診きわめる】 内分泌性〇〇病(症)の見つけ方 内分泌性骨粗鬆症	53	13	2223-2225	医学書院
Medicina	馬越 洋宜, 田上 哲也	【内分泌疾患を診きわめる】 副腎疾患 ホルモン過剰症 副腎皮質機能亢進症 原発性アルドステロン症 特発性アルドステロン症を含む	53	13	2203-2207	医学書院
Medicina	田上 哲也	【内分泌疾患を診きわめる】 甲状腺疾患 ホルモン抵抗症 甲状腺ホルモン不応症	53	13	2178-2183	医学書院
Medicina	小笠原 辰樹, 田上 哲也, 島津 章	【内分泌疾患を診きわめる】 下垂体疾患 ホルモン過剰症 下垂体前葉機能亢進症Cushing病と異所性ACTH産生腫瘍	53	13	2086-2090	医学書院
Medicina	田上 哲也	【内分泌疾患を診きわめる】 ホルモン作用からみた症候	53	13	2082-2085	医学書院
Medicina	田上 哲也, 菅原 明, 方波見 卓行, 廣嶋 佳歩	【内分泌疾患を診きわめる】 内分泌疾患診療のコツ	53	13	2072-2080	医学書院
循環器内科	成瀬 光栄, 立木 美香, 馬越 洋宜, 小笠原 辰樹, 田上 哲也, 島津 章	原発性アルドステロン症の外科的治療と内科的治療の選択	79	5	479-481	科学評論社
Hospitalist	田上 哲也	【代謝内分泌】 甲状腺検査の読み方 血液検査, 画像検査の選択と解釈, ピットフォール	4	1	31-40	メディカル・サイエンス・インターナショナル
日本内分泌学会雑誌	廣田 圭昭, 垣田 真以子, 安田 謙, 小笠原 辰樹, 馬越 洋宜, 横田 美樹, 中谷 理恵子, 立木 美香, 田上 哲也, 成瀬 光栄, 青木 友和, 臼井 健, 島津 章	両側難治性中耳炎と中枢性尿崩症を呈したANCA関連血管炎性肥厚性硬膜炎・下垂体炎の一例	91	Supple.	32-34	日本内分泌学会
内分泌・糖尿病・代謝内科	田上 哲也, 島津 章	【分子メカニズム解明がすすむ内分泌疾患】 先端巨大症	42	3	191-196	科学評論社
内分泌代謝専門医ガイドブック改訂第4版	田上 哲也	甲状腺ホルモンの基礎知識			162-163	診断と治療社
内分泌代謝専門医ガイドブック改訂第4版	田上 哲也	Basedow病			172-179	診断と治療社
内分泌代謝専門医ガイドブック改訂第4版	田上 哲也	慢性甲状腺炎(橋本病)			183-186	診断と治療社
内分泌代謝専門医ガイドブック改訂第4版	田上 哲也	粘液水腫性昏睡			187-189	診断と治療社
内分泌代謝専門医ガイドブック改訂第4版	田上 哲也	薬剤誘発性甲状腺機能異常			205-207	診断と治療社
内分泌代謝専門医ガイドブック改訂第4版	田上 哲也	Column「BMIの話-ウルトラマンの場合-」			102	診断と治療社
内分泌代謝専門医ガイドブック改訂第4版	田上 哲也	Column「アミオダロン誘発性甲状腺機能異常症」			207	診断と治療社
甲状腺専門医ガイドブック	田上 哲也	甲状腺ホルモン受容体異常症			301-306	診断と治療社
今日の臨床サポート	田上 哲也	甲状腺機能低下症			オンライン	Elsevier Japan KK
ファーマーナビゲーター 抗RANKL抗体編Chapter6 Question & Answer	横本真希, 山口徹	デノスマブとテリパラチドの併用は単独投与と比べて有用でしょうか?			401-403	メディカルレビュー社
臨床泌尿器科	立木美香, 馬越洋宜, 成瀬光栄	褐色細胞腫	70	4	124-126	医学書院
ホルモンと臨床	立木美香, 馬越洋宜, 横本真希, 廣嶋佳歩, 小笠原辰樹, 田辺晶代, 田上哲也, 島津章, 成瀬光栄	妊娠時の原発性アルドステロン症の診断と治療	62	7	571-574	医学の世界社

## □ 内分泌・甲状腺・高血圧外来 平成28年度看護概況内容

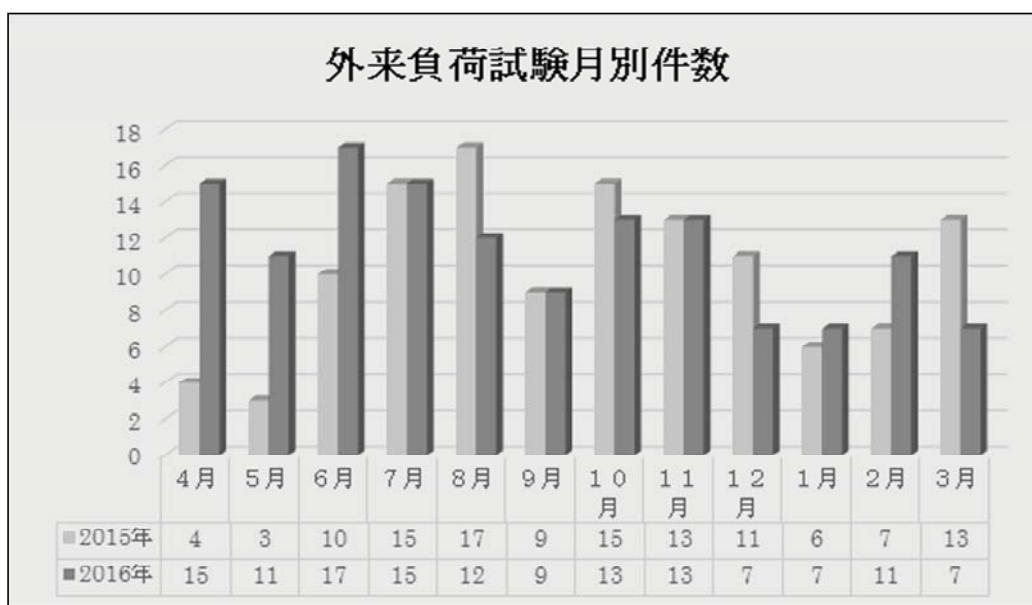
- 平成24年12月より内分泌・甲状腺外来から内分泌・甲状腺・高血圧外来に名称が変り、高血圧の初診患者を全て当科で対応することとなった。
- 内分泌・甲状腺・高血圧センターは、小児から高齢者と年齢層も幅広く、また疾患も多岐にわたる。
- 治療方針や診断確定のために外来での安静採血や負荷試験、検査入院が必要となることが多い。
- 平成25年1月より、東日本大震災で被災し福島県より避難された放射能影響の可能性のある小児を対象にした甲状腺エコーの協力施設となり、木曜日と金曜日に福島エコー枠を設け実施している。
- 平成29年1月より骨粗鬆症・サルコペニア専門外来が開設され、主に整形外科・婦人科・健診センター・他院からの紹介を受け、診断と治療を行っている。
- 内分泌・甲状腺・高血圧外来では負荷試験や検査に不安をもったり苦痛をとまったりしないように精神的なフォローに努めている。



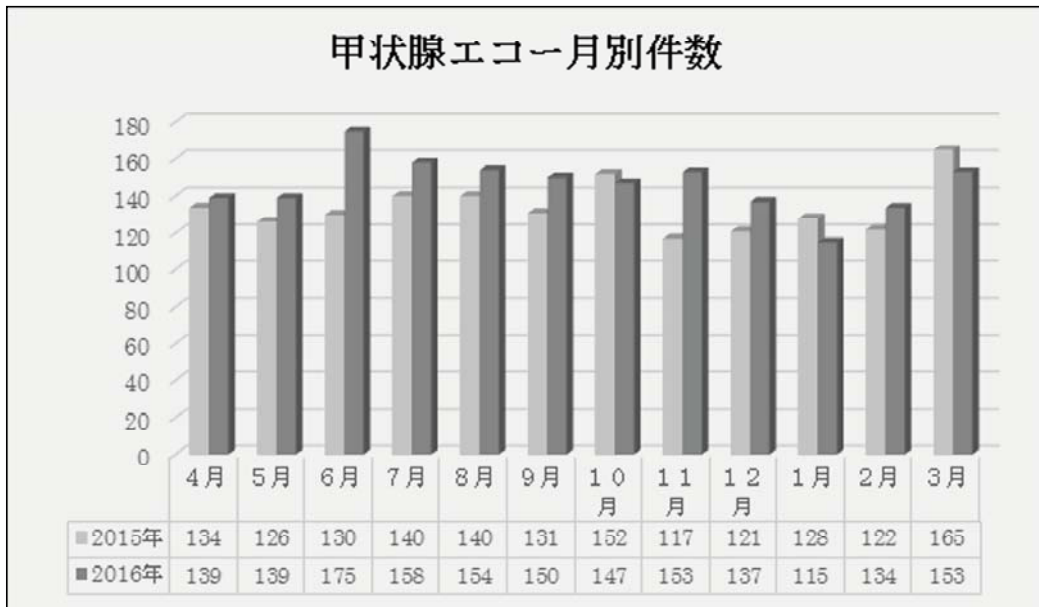
- 疾患によっては服薬や自己注射など長期にわたってコントロールを必要とするため、(外来→入院→外来と)継続した関わり、患者の立場に立った援助が行えるように日々心がけている。
- 他院で検査を受け甲状腺疾患を指摘されたり、下垂体疾患で治療中だが専門医での治療目的、高血圧で降圧剤を服用するがコントロールが悪く紹介状を持参されたりして受診される患者が多い。



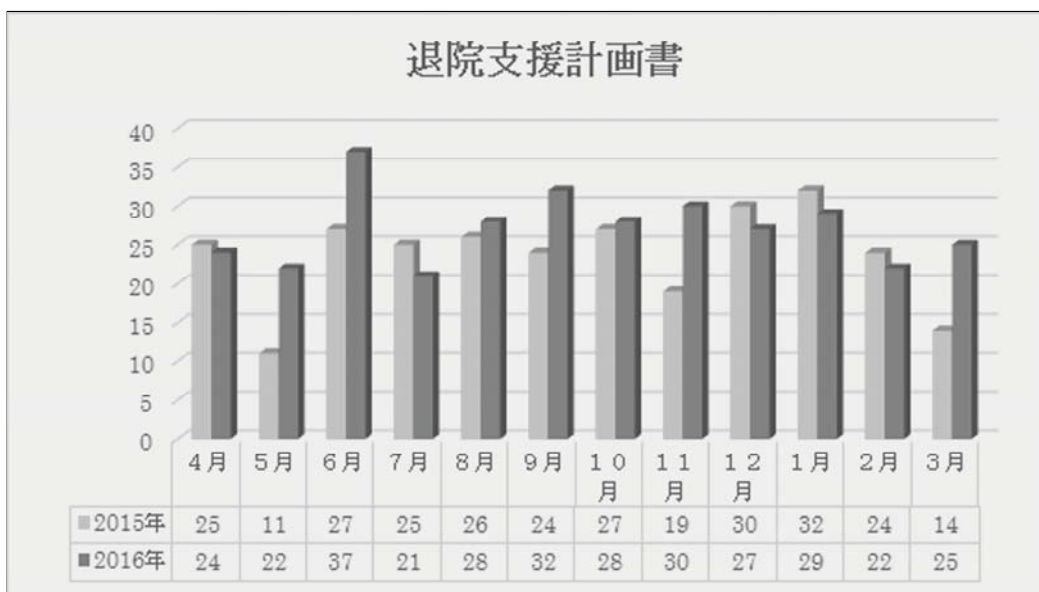
- 高血圧疾患が増加しており副腎偶発腫瘍や原お圧性アルドステロン症などの鑑別疾患や下垂体疾患評価目的で外来において安静採血や負荷試験を実施している。安静採血はベッドに30分安静になった状態で採血を行っている。
- 下垂体疾患では成長ホルモンの筋肉注射が多い。油性のため調整時、注射時は慎重を要する。成長ホルモン自己注射導入では若い患者さんが多いため外来受診時に患者さんとその家族に継続的に関わりがもてるように心がけている。



- 甲状腺エコーの細胞診検査は穿刺への恐怖と不安感がみられるためできるだけ付き添い状態把握に努めている。
- 福島甲状腺エコーでは2歳から21歳までの若年者が受診される。東日本大震災において福島で被災し原発の影響に不安を抱えて来院される両親が多く、また実際に検査を受けるのは乳幼児が多いため検査が不安無くスムーズに進むように心がけている。



- 2012年11月より活用になった退院支援計画書は入院説明時に記載し、支援必要患者には自宅での状況やサービスの使用状況、介護保険の申請状況等を確認しカルテ記載するようにして、病棟との連携がはかれるようにしている。
- 退院時次回受診時の説明や退院後の指導も行えるときは病棟に出向いて行っている。



(内分泌・甲状腺・高血圧センター看護師 細井 静香)